

ホーム > 市民レポーター > 私がカワセミ…子です！！

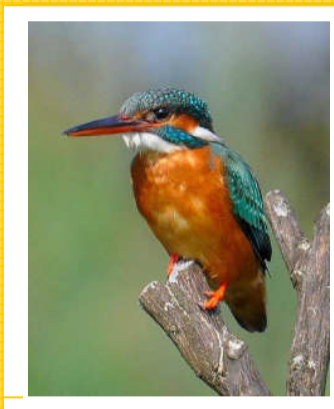
私がカワセミ…子です！！



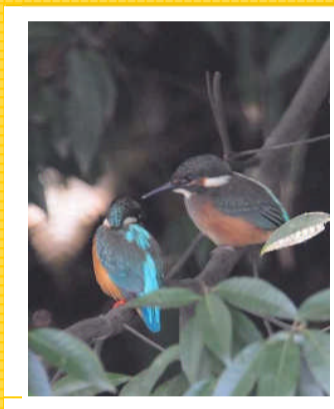
愛読者 各位

先般、営巣づくりの様子を激写しましたが、いかがでしたか？
今回は、それに引き続き、生まれたばかりの子カワセミと母親の様子をWEBします。
この画像は、子です。貴重です。著作権はこの子にある?でしょう。
鳥の情報提供は特定化しないのがルールですので、以下の記事はそれに因ります。もちろんノンフィクションです。

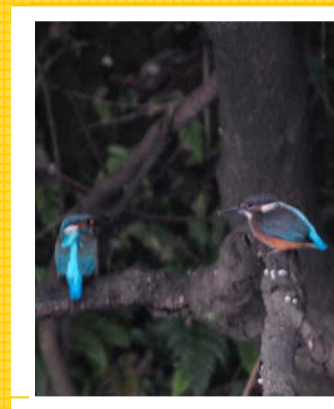
野火止人



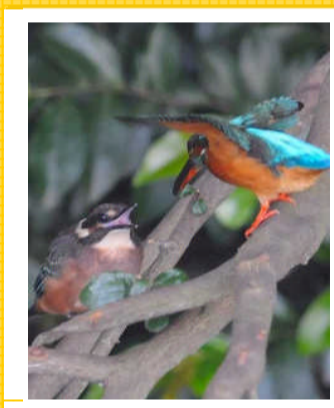
母親です。この固体の特徴は下の口ばしが上より短いこと。
口ばしの赤いのは、雌の印です。



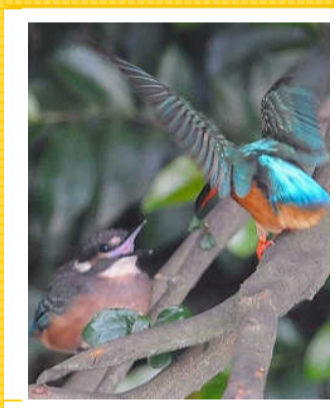
子の所に、親が飛んで来ました。どこから？これが、いまだ確証がありませんが、子はここに2～3日います。
(子も親に連れられて来ました)



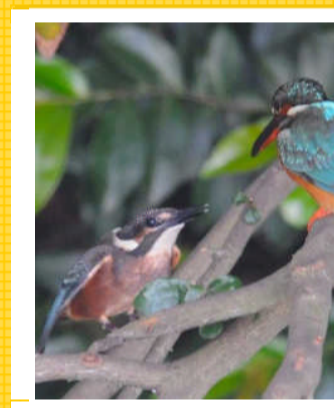
早速、給餌のおねだりが始まりまし



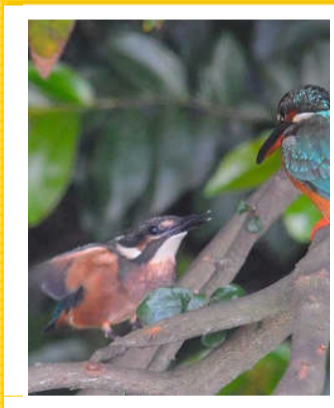
母親とすると、シッカリ飛べるようになってくれるのが最大の課題。子は今は3m飛んでは休みの状態のようです。



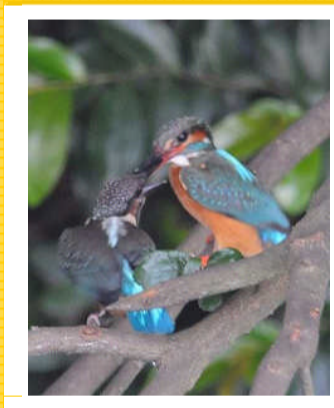
飛ぶ練習をさせるためか、親は盛んに羽を動かします。



子もその気になって来たようです。



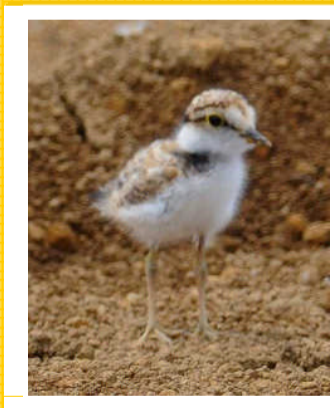
子も、羽を大きく動かし始めました。



「よくやった、ご褒美をあげる」といった場面か？子に給餌していますね。子はすぐに飛べるようになります。親について飛んで行ってしまいました。また、帰ってくるでしょう？それよりも、採餌が出来るまでは、親から離れられず、また、もう少し時間がかかるようです。



<ワン・ポイント レッスン>
・魚は骨を砕いてから、頭から食べさせます。鱗が逆さで咽につかえることがないように・・・との行動のようです。この魚はドジョウのようです。絶滅危惧指定種のホトケドジョウとの話もありますが、東久留米にちってはどっちも大事ですが・・・！



(次号)
・この画像のコチドリの子・・・の情報を予定しています。

※後記
(撮影のルールへの厳守)
地域ごとにその事情を反映し、いろいろあるようです。
今回の場所では、ボランティアの方を中心として、ロープを張り、鳥に近づき過ぎない、また、一般の通行の邪魔をしないよう、市、都との調整を事前にやられたとのこと。
鳥に成功体験をさせ、また、次回もここでしようという気にさせることが、自然環境維持管理上の重要な事。そのためには、近隣の方々の協力なくては出来ないことです。